

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 ネズミ・小動物用追い出しスプレー

製造業者情報

会社名 神栄産業株式会社
 住所 〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目16番4号 鹿野ビル2F
 担当部門 東京営業部
 電話番号 03-5391-3561
 FAX番号 03-5391-3565

推奨用途及び使用上の制限 ネズミ・小動物等の追い出し

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分3
可燃性・引火性エアゾール	区分1
高压ガス	液化ガス

健康有害性

急性毒性(経口)	区分3
急性毒性(経皮)	区分2
急性毒性(吸入：蒸気)	区分1
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2A
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく)	区分3

環境有害性

水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1

上記で記載がない危険有害性は「分類対象外」もしくは「分類できない」

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性又は引火性の高いエアゾール、高圧容器：熱すると破裂のおそれ。

飲み込むと有害。

皮膚に接触すると危険。

吸入すると危険。

皮膚刺激。

強い眼刺激。

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器への刺激のおそれ。

水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙

裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

取扱い後は手を良く洗うこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと

環境への放出を避けること。

応急処置

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

保管

日光から遮断し、換気のよい場所で保管すること。

廃棄

内容物や容器を、都道府県知事の許可を得受けた専門の廃棄物処理業者に委託廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別 混合物

化学名及び一般名

成分名	CAS No	含有量
アリルイソチオシアネート	57-06-07	非公開
ジメチルエーテル	115-10-6	33ml

4. 応急措置

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は固定していない限り取り除いて洗浄する。
- ・出来るだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る
- ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・凍傷の恐れがあるので直ちに大量の水又は微温湯にて洗浄し重い場合は医師の処置を受ける。

吸入した場合

- ・蒸気、ガス、粉塵等を大量に吸いこんだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は呑み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受けること。
- ・当該SDSや容器のラベルを、医師に示して診療を受ける。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、口をすすぎコップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈し、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないようにする。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤

水 [] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 [○]

消火方法

- ・適切な保護具を着用する。
- ・可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。
- ・指定の消火器を使用すること。
- ・高温にさらされるエアゾール容器は、水をかけて冷却する。
- ・消火活動は、風上から行う。
- ・エアゾール容器は、高温になると破裂の恐れがあるので、消火活動には距離を充分に取る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・作業の際には必ず保護具（ゴム手袋、保護マスク、保護眼鏡、保護衣等）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、噴霧粒子を吸入しないようにする。
- ・液体が直接身体に触れると気化熱により凍傷を起こす。

環境に対する注意事項

- ・漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をすること。
- ・付近の着火源・高温体及び可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- ・衝撃、静電気で火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

可燃性製品によることの注意

- ・高圧ガスを使用した可燃性の商品であり、危険な為、火気の注意を守ること。
- ・炎や火気の近くで使用しないこと。
- ・火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ・高温にすると破裂の危険があるため、直接日光の当たる所やストーブ、ファンヒーター等の暖房器具近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。
- ・火の中に入れてないこと。
- ・使い切って捨てること。

取扱い

- ・換気の良い場所で取扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・皮膚、粘膜、又は着衣に付着したり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・取扱い後は手・顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まない。
- ・容器が高温になる場所で取り扱うと、容器が破裂する恐れがある。
- ・屋外作業の場合には、風上から作業し、風を背後から受けるようにする。
- ・噴射剤に継続して触れると、凍傷や炎症の恐れがある。

保管

- ・保管場所は、食品、食器、飼料などと区別し、小児などの手の届かない所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にする。
- ・容器は熱、発火源から離れた場所で、40℃以上にならない所に保管する。
- ・他の容器に移して保管しないこと。
- ・高圧ガス保安法の規則に従う。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具：状況に応じて次の保護具を着用すること。

呼吸器系の保護：有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護：耐溶剤性手袋を着用する。

眼の保護：保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護：長袖の作業着、不浸透性保護前掛け、ゴム長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的物質

(アリルイソチオシアネート)	(ジメチルエーテル)
形状・色：無色又は微黄色透明液体	無色の気体
臭い：特有の強い刺激性のある香気を有する	やや甘味臭
PH： データなし	データなし

沸点、初留点：148-154℃ 及び沸騰範囲	-24.8℃
引火点：50℃	-41.1℃
自然発火温度：データなし	350℃
融点・凝固点：データなし	-141.5℃
燃焼性：データなし	ガスは可燃性。熱、炎、酸化剤に爆すと引火危険性大。炎、火花に爆すと爆発性
比重：1.018-1.023(20℃)	0.661(20℃)
蒸気圧：0.493kpa(20℃)	2.573hpa(0℃)、5.066 hpa(20.8℃)
蒸気密度：3.4(空気=1)	1.59(空気=1)
溶解性：2g/L(水 20℃)有機溶媒には容易に溶解	水に可溶(7 g /100cc 水、18℃・大気圧)
爆発範囲：データなし	3.4~27vol%(空気中)

10. 安定性及び反応性

(アリルイソチオシアネート)	(ジメチルエーテル)
安定性：高温では自己重合を起こすことがある 危険有害：高温、強酸、アルカリ、アミン類と反応 反応可能性	高温においても不活性範囲きでは安定 光や空気の影響下で爆発性過酸化物を生成する事がある。燃焼すると刺激性のヒュームを生成する。酸化物と反応。
反応性：アミンと反応する 避けるべき条件：高温、強酸、アルカリ、アミン類 昆虫危険物質：酸化性固体、酸化性液体	空気との混合。混触危険物質との接触 水酸化アルミニウム、水酸化アルミニウム ムリチウム

11. 有害性情報

(アリルイソチオシアネート)

急性経口毒性：ラットLD50 112mg/kg 肺、呼吸、消化管への影響

急性経皮毒性：ウサギ(経皮)LD50 88mg/kg

急性吸入毒性(蒸気)：ラットLC50 0.5mg/L/4hr

皮膚腐食性・刺激性：参考文献4)の分類から区分2

眼に対する重篤な損傷：刺激性参考文献4)の分類から区分2A

生殖毒性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

標的臓器/全身毒性(単回帰曝露)：気道刺激性あり

標的臓器/全身毒性(反復曝露)：データ不足

吸引性呼吸器有害性：データ不足

(ジメチルエーテル)

急性経口毒性：ラットLD50 308g/m³

急性吸入毒性：ラットLC50 385、940ppm/30分

人に対する毒性として

7.5vol%：軽い不可解感起こるが、外観的に変化なし

8.5vol%：21.5分後、均衡障害、運動不調、視覚攪乱など

14vol%：23分で麻痺、26分後には失神状態になる

皮膚腐食性・刺激性：皮膚を侵すことは少ないが、液体で触れた場合凍傷の恐れがある

眼に対する重篤な損傷：眼を刺激する(発赤、痛み)
呼吸器感作成・皮膚感作成：気体状態感作成は極めて少ない
発がん性：データなし
生殖毒性：吸入ラット 28,000ppm6～15 日間、催奇性なし
標的臓器/全身毒性(単回帰曝露)：データなし
標的臓器/全身毒性(反復曝露)：吸入ラット LD50 20,000ppm/15 週間,悪影響なし
吸引性呼吸器有害性：強い麻酔性あり。きわめて低毒性。吸入により毒性を示す

1 2. 環境影響情報

(アリルイソチオシアネート)

水生環境急性有害性：魚類急性毒性 96hr LC50 00856mg/L

水生環境性有害性：上記急性毒性結果からと急速分解性がないと判断されるため、区分 1
(ジメチルエーテル)

生態毒性魚毒性：知見なし

残留性・分解性：知見なし

生態蓄積性：知見なし

その他：炭素・水素組成なので,光化学オキシダントの原因となり、その高層気象での寿命は
3～30 時間である

1 3. 廃棄上の注意

- ・自治体の条例や指導に従って処分すること。
- ・残余廃棄物,容器,包装等は産業廃棄物として適正に処分する
- ・燃焼炉等で燃焼させる場合、逆火に注意しながら少量ずつ燃焼させる

1 4. 輸送上の注意

共通：取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れのないことを確かめ、
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定め
られた運送方法に従うこと。

海上輸送：船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送：航空法の定めるところに従うこと。

ジメチルエーテル：国連番号 1033

アリルイソチオシアネート：国連番号 1545

：緊急時応急処置指針番号 155

1 5. 適用法令

(アリルイソチオシアネート)

化学物質管理促進法(P R T R)：非該当

消防法：危険物第 4 類第 2 石油類(非水溶性)危険物等級Ⅲ

労働安全衛生法：引火物の物

毒物及び毒物取締法：非該当

船舶安全法：危規則第 3 条危険物告示別表第 1 毒物類

国連分類：クラス 6.1(毒物)サブクラス 3packing group：Ⅱ

国連番号：1545

海洋汚染防止法：海洋汚染物質

(ジメチルエーテル)

高压ガス保安法：液化ガス(第2条),可燃性ガス(一般高压ガス保安規則第2条)

労働安全衛生法：可燃性ガス

船舶安全法：高压ガス

港側法：高压ガス

航空法：高压ガス

大気汚染防止法：有害大気汚染物質

6. その他の情報

参考文献

- 1)原料メーカーの安全データシート
- 2)RTEOS NX8225000
- 3)第8版食品添加物公定書解説
- 4)日本香料工業会GHS対応の手引き
- 5)FROSCH TEXTBOOK OF CONTACT DERMATITIS
- 6)IARC 73 (1999)
- 7)NTP DB
- 8)日本化学会編 化学便覧 改定3版 丸善(1988)
- 9)日本化学会編 化学防災指針 No.96 丸善(1988)
- 10)日本公定書協会編 化粧品原料基準第二版追補2注解 薬事日報社(1992)
- 11)Dimethyl Ether, a report on examination concerning the safety and environmental Aspects of its use as propellant begeleidingscommissie DME-project(1985)
- 12)Dimethyl Ether-a safety evaluation paper Presented to the scientific advisory Committee of the CSMA-Chicago, Illinois May9(1986)

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づき作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。また注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施のうえご利用ください。